

本号の特集は「消化器外科のドレーン管理を再考する」である。従来，ドレーンについては日本では経験則で議論されてきたが，海外では多くの randomized controlled trial (RCT) が行われ，エビデンスに基づいた客観的な検討がなされている。その結果については特集内でも述べられているが，日本の臨床現場においてはどの程度受け入れられているのであろうか。

当然のことながら，ドレーンの必要性は，手術侵襲の程度，術野の汚染度，患者側のリスク，術者の力量・性格など複合的な要因で決定されるので，画一的に決められるものではない。しかし，虫垂切除，胆嚢摘出，大腸切除，肝部分切除など定型的な低侵襲手術におけるドレーンの必要性については，多くの RCT がルーチンの使用を推奨していない。不必要なドレーンを使用しないという原則は，ドレーン関連合併症の回避，早期離床，ならびに医療経済的にも有益である。一方，頻度は低いとはいえ，偶発した縫合不全や腹腔内膿瘍を，ドレーンが留置されていたために新たな侵襲を加えることなく保存的に治癒できた経験は多くの外科医が持っていることであろう。

RCTによって得られたエビデンスはもちろん尊重しなければならないが，外科治療は薬物治療と異なり，それほど単純化できる治療手段ではないため，RCT のデザインによってはその結論を鵜呑みにできない場合もあると思われる。医療が科学的，合理的に行われるためにエビデンスが必要なことに異論はないが，“evidence-based”でありながらも“experience-guided”な部分を活かすことが臨床医として必要なことであろう。統計学的処理に埋もれてしまう個別的事実も無視できないとする考え方は，「患者のベッドサイドから離れるな」「先人の技を盗め」と言われて育った，今から見れば非能率的かもしれない伝承的教育を受けたシニア外科医のアナクロニズムであらうか。

(島津元秀)

臨床外科 (第 67 巻 第 3 号)

2012 年 3 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

(2012 年年間購読料)			
冊子版/個人特別割引	38,640 円	冊子版/通常	41,370 円
電子版/個人特別割引	38,640 円	電子版/共有	47,600 円
冊子+電子版/個人特別割引	43,640 円	冊子+電子版/共有	52,600 円
増刊号を含む 13 冊，税込，送料小社負担			

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
☎ 社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp
担 当 田村・川村・安部
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為(複写，スキャン，デジタルデータ化など)は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的(診療，研究活動を含む)で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に，(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。